

キッズチャレンジキャンプ①・②

第1回：令和2年11月7日(土)～8日(日)

第2回：令和3年3月20日(土)～21日(日)

【目的】

幼児の自発的な活動としての遊びを促すために、本所に特設した「ツリーハウス」での遊びや森歩き、親子遊び等を通して、感じる力や気付く力、考えたり試したりする力とよりよく生活しようとする心情や態度などの基礎を育む。

【参加者】第1回：10家族 27名（幼児15名 大人12名） 第2回：8家族 22名（幼児10名 大人12名）

【プログラムの内容】

1日目

- 13:30 はじめの会
- 13:45 親子遊び教室
- 14:30 森歩き（雨天中止）／遊びリンピック大会
- 19:30 星空観察（雨天中止）／星の話

2日目

- 9:30 ぼうけん広場で遊ぼう
- 10:30 まき割り火起こし体験
- 11:30 おわりの会

親子遊び教室



お父さんの開く足、閉じる足の動きに合わせてジャンプをしたり、力比べをしたり、お母さんの手の位置でタッチをしたり、新聞紙の棒をかわしながら移動したり、子どもたちはいろいろな運動遊びをした。緊張していた表情だったが、親子遊びを通して、笑顔が見られるようになった。

森歩き（雨天中止）／遊びリンピック大会



森歩きをする予定だったが、雨天のため室内で遊びリンピック大会（競技性のある遊びの大会）を行った。平均台を渡ったり、フラフープをくぐったりするサーキット遊びや、ボールの的当て、カプラタワーづくり、ダンボールキャタピラー競争など、家族で様々な遊びにチャレンジした。

星空観察（雨天中止）／星の話



天体観察指導員の先生をお招きし、大型天体望遠鏡で天体観察をする予定だったが、雨天のため室内で自然の家で見ることのできる惑星や星座の話聞いた。実際に使用する予定だった天体望遠鏡で先生が撮影した写真を見せてもらい、どんな星を観ることができるのか、クイズを交えながら知ることが出来た。

ぼうけん広場で遊ぼう



ツリーハウス、木のブランコ、スラックライン、森のお弁当箱づくり、木製ジャングルジム、積み木などの遊びを自分で選び、好きなように繰り返し遊んだ。ロープを使ってツリーハウスに登ったり、ぐらぐら揺れるラインを渡ったりすることにチャレンジし、成功を喜ぶ姿が見られた。

まき割り火起こし体験



初めてのまき割り火起こしにチャレンジした。はじめは恐る恐る取り組んでいたが、何度か繰り返すうちに、自分から進んでまき割りをするようになり、親子で協力する姿が見られた。マッチで火を起こし、着いた火でマシュマロを焼いて食べ、家族で談話をするなど、リラックスした時間を過ごした。

【参加者の声】

- ・「子どもも友達ができたようで、とても楽しんでた。コロナ禍ではあったが、衛生面にとっても気を遣って頂き、安心して活動できた。」
- ・「子どもにとって楽しめる&チャレンジできるレベル感がちょうどよく、楽しみながら達成感も味わえた。」
- ・「雨が降っても色んな遊びができて、子どもが楽しめた。」

【成果】

キャンプに参加して、「満足」は90%、「やや満足」は5%であった。雨天で残念だったという評価を除くと、多くのご家族に満足していただけた。「楽しめた」「チャレンジできた」などの感想が多く、キャンプを通して、遊びの自発性などが高まったと考えられる。

【課題】

両回ともに募集人数が300人を超え、多くのご家族をお断りする形となってしまった。コロナ対策につき、定員を大幅に減らして実施をしたが、キャンプの需要とコロナ対策のバランスを考慮して、実施形態等を改善していく必要がある。